2 0 1 8 年 度事 業 報 告 書

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム

事業の成果

- ・森と人の関わりのこれからについて研究や情報発信を行う「森林社会学研究会」では、一般市民向けの連続講座運営を継続し、当日の講演記録を冊子にまとめ配布した。
- ・2018 年 6 月 15 日、16 日に上智大学で開催した第 22 回「森林と市民を結ぶ全国の集い」の事務局を 務めた。林野庁補助事業では実態調査を実施した。
- ・東京都西多摩地域の森づくり団体と連携して、都市住民を対象とした「初心者のための森づくり体験 会」実施した。
- ・会報や WEB サイトのアップデート、SNS での情報発信を強化し、森づくりへの理解や関心を深める 普及啓発や、各地域の団体支援につながる情報を発信した。
- ・法人運営に関する中期計画案を作成し、2019年度からの3カ年事業実施に向けての準備を進めた。
- ・2018 年 11 月 17 日、18 日に東京都にて開催された「第 42 回全国育樹祭」では、東京都緑化功労賞に選ばれ表彰された。

事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【12,563】千円)

(1) NACA ETAILON (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)				,			
定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事 者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数	事業費 (千円)
森づくりに関する情報の収集・ 提供および調査 研究	【森林社会学研究会事業】 2015 年度よりスタートした連続 講座シリーズを計4回実施。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	東京	2名	講座参加者	200 名	453
森づくりに関する情報の収集・ 提供および調査 研究	【平成 30 年森林づくり活動の実態調査】 調査票内容、調査・集計方法などについて協議し、9月に全国の森づくり団体へ調査票を発送、3月には結果を WEB 上で公表した。2月には、結果速報や森づくり活動を考えるシンポジウムを実施した。	月~2019		3名	調 査 対象団体	4000 団 体、114 名	2810
森づくり活動を 行う団協力関係の 協し、 促進し、 アークを る事業	員会事務局を運営し、2018 年 6 月 16 日~17 日に上智大学にて実施した。また、第 23 回の静岡開催に向けて、実行委員として準備を進めた。	2010 1	東京、静岡	4名	イベン ト参加 者	449 名	3146
森づらは はいか はいか はいか はいか はいか はいか はいか はいか はいか はい	ークづくり】 『東京の「木の流通」今・昔』と 題して、東京の木の歴史や流通に	2018年7 月~2019 年2月	東京	3名	イベン ト参加 者	34名	138

森づくり活動を交行が、 が団体関係の が関ル、 が展し、 を構築 での での での での での での での での での での	【株式会社ファンケル森林保全寄付選定事業】 株式会社ファンケルの森林保全チャリティキャンペーンにおいて、寄付先団体の候補選定、寄付先団体の連絡取りまとめ、サイトのPR、先方との調整業務を行った。	2018年6 月~2019 年3月		2名	寄付先団体	8 団体	154
人材養成のため の研修、講習会	【森林ボランティアの底辺拡大と指導者層の育成事業】 4月~6月にかけて「初心者のための森づくり体験会」の第3回~7回、10月には特別会を実施。「初心者のための森づくり体験会2019」の企画を進め、1月~3月	2018 年 4 月~2019 年 3 月	東京	3名	イベン ト参加 者	213 名	795
森林ボランティ ア保険事業、 森づけば、動育が でするがにで動がる ではいるがでいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で4回実施した。 【グリーンボランティア保険業務】 グリーンボランティア保険の窓口業務を継続して行った。体登録の促進の一環として新規登録・情報変更用のフォームを設置し、利用効率の向上を図った。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	全国	2名	保険利用者	57547 名	1751
森づくり活動を 行う団体の動がよ り円滑にでき 環境の基盤整備	【森林ボランティア安全対策の 提言】 メールマガジンと Facebook で森 づくり活動における安全管理に 関する情報を発信した。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	全国	3名	一般市民	5334 名	0
その他本会の目的を達成するために必要な事業	【フォレスト 21「さがみの森」】 月 2 回の森林ボランティア体験活動を実施。来年度の PR ガイドブック作成に向けて、生物調査などの準備を進めた。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	神奈川	2名	活動参加者	418 名	1176
その他本会の目的を達成するために必要な事業	【多摩の森・大自然塾】 月1回の森林ボランティア体験活動、また学生を対象とした森林体験講座を実施した。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	東京	2名	活動参加者	392 名	58
その他本会の目的を達成するために必要な事業	【企業の森】 東京都の「花粉の少ない森づくり 運動」参画企業向けに森林整備研 修を3回実施した。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	東京	2名	研修参加者	125 名	335
その他本会の目的を達成するために必要な事業	【木下沢渓谷冒険の森】 月1回の森林整備・管理作業や、 一般に向けたプチ自然体験会を 実施した。また、親子自然体験会 2回実施した。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	東京	2名	活動参加者	249 名	1285
森林の保全および自然環境を守るための普及啓発	【広報事業】 機関誌の発行形態を変更し、活動 レポートを年4回、特集号を1回 発行した。また、月2回のメール マガジンの発行、WEB サイト・ Facebook・Instagram により情報 発信を行った。	2018 年 4 月~2019 年 3 月	全国	4名	一民森り一会の一人会の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	5298 名	393

I. 事業に関する事項

1. 調査・研究に関する事業

(1)森林社会学研究会事業

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	原田、宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	200名(下記企画委員会、講座の参加者総数)
会議等の実施日時・人数	・4/7 第 11 回連続講座 場所:文京シビックセンター 参加人数:30 名
	・5/20 連続講座特別回 場所:文京シビックセンター 参加人数:55 名
	・9/12 第4回企画委員会 場所:森づくりフォーラム事務所 人数:7名
	・11/3 第 12 回連続講座 場所:文京シビックセンター 参加人数:28 名
	・2/2 第 13 回連続講座 場所:文京シビックセンター 参加人数:80 名
報告	4月7日「次世代林業家から見た森林」をテーマに第 11 回講座を実施、出演
	者は谷茂則さん(谷林業㈱)。5月20日「森をめぐる経済のこれから」をテー
	マに総会時に合わせて特別回を実施、出演者は内山代表、赤堀楠雄さん(林材
	ライター)。11 月 3 日 「I ターン先駆者が考える地域経済のこれから」をテーマ
	に第 12 回講座を実施、出演者は小森胤樹さん(郡上エネルギー㈱)。2 月 2 日
	林野庁補助事業の枠で「どうする?どうなる?これからの森づくり」をテーマに
	第 13 回講座を実施、森づくりを行う 3 団体の事例発表や実態調査の速報共有
	などを行った。また9月に企画委員会を行い、以降の講座運営および社会学研
	究会の運用計画について協議した。

(2) 平成30年森林づくり活動の実態調査

[補助事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	宮本
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	4,000 団体、114 名
会議等の実施日時・人数	・7/13 第 1 回検討委員会 場所:文京シビックセンター 参加人数:12 名
	・10/3 第2回検討委員会 場所:文京シビックセンター 参加人数:11 名
	・2/2 第 13 回連続講座 場所:文京シビックセンター 参加人数:80 名
	・3/5 第3回検討委員会 場所:文京シビックセンター 参加人数:11 名
報告	「平成 30 年森林づくり活動の実態調査」を実施した。対象団体数は 4,184、内
	発送数は 3350 であった。事業実施にあたって、検討委員会を 3 回行い、調査
	票内容、調査・集計方法などについて協議し、9月に調査票の発送・協力依頼、
	11月より集計作業を行い、3月に集計結果を WEB 上で公表した。2月2日に
	本調査の集計結果速報を共有し、今後の森づくり活動について考えるシンポジ
	ウムを実施した。

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	本会事務所、文京シビックセンター、上智大学ほか
主担当者	石井、鹿住、中沢、宮本
従事者の人数	4名
受益対象者の範囲及び人数	449 名(下記開催の参加者・スタッフと実行委員会の参加者総数)
会議等の実施日時・人数	・「森林と市民を結ぶ全国の集い 2018in 東京」実行委員会
	場所:文京シビックセンター
	4/16 第6回:18名 5/14 第7回:18名
	6/5 第8回:17名 7/31 第9回:16名
	・「森林と市民を結ぶ全国の集い 2018in 東京」場所:上智大学
	6/16~6/17 参加者延べ 250 名 スタッフ:59 名
	・「森林と市民を結ぶ全国の集い 2018in 静岡・掛川」実行委員会
	8/7 準備会 場所:時ノ寿の森クラブ事務所 人数:4 名
	9/26 第1回 場所:掛川市役所 人数:16名
	11/14 第2回 場所:掛川市役所 人数:18名
	1/23 第3回 場所:割烹旅館 天金 人数:15名
	3/6 第4回 場所:掛川市役所 人数:18名
報告	第 22 回となる東京開催の実行委員会事務局を運営し、上智大学にて実施した。
	今回のテーマは『変わりはじめた「山」・「ひと」・「街」~森の価値を分かち合
	う~』。初日全体会、2日目分科会・全体会という構成で、2日目終了後に上智
	大学主催の「ソフィアシンポジウム」も連携開催された。今回は、東京のほか
	各地域からの参加者が多く、男女比は半々であった。第 23 回は静岡県掛川市
	で 2019 年 6 月 15 日~16 日に開催予定。開催に向けて実行委員として準備を
	進めた。

(2) 東京の森づくり団体ネットワークづくり

[助成事業]

実施期間	2018年7月~2019年2月
実施場所	上羽生家、多摩木材センター、本会事務所ほか
主担当者	石井、石山、松井
従事者の人数	3 名
受益対象者の範囲及び人数	34 名
会議等の実施日時・人数	・11/26 実施打ち合わせ 参加人数:4 名
	・12/25 上羽生家・多摩木材センター見学ツアーの実施 参加人数:30名
報告	『東京の「木の流通」今・昔』と題して、東京の木の歴史や流通について理解を
	深めるための見学ツアーを企画・実施した。東京都日の出町の上羽生家、多摩木
	材センター、また国産材割り箸の工場(障害者支援施設 山の子の家)を見学し、
	羽生謙五さん、羽鳥孝明さん(グループ浜仲間の会)、三谷清さん(多摩木材セ
	ンター専務理事)にお話しいただいた。

(3) 株式会社ファンケル森林保全 寄付選定事業

[受託事業]

実施期間	2018年6月~2019年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	宮本
従事者の人数	2名
受益対象者の範囲及び人数	8 団体
会議等の実施日時・人数	・説明、企画提案 場所:森づくりフォーラム事務所 6/25 4名
報告	株式会社ファンケルの CSR 活動の取り組みの一環で、森林保全チャリティキャ
	ンペーンが 2018 年 7 月より実施された。キャンペーンサイトで集まったポイン
	トによって8団体への寄付金額が決まる仕組み。当法人が事務局として寄付先団
	体の候補選定、寄付先団体の連絡取りまとめ、サイトの PR、先方との調整業務
	を行った。計3回の寄付キャンペーンを実施し、寄付金総額は 150 万円。
寄付先団体	① NPO 法人 森の生活(北海道)
	② NPO 法人 いわて森林再生研究会(岩手県)
	③ NPO 法人 よこはま里山研究所(神奈川県)
	④ NPO 法人 信州フォレストワーク(長野県)
	⑤ NPO 法人 里山倶楽部(大阪府)
	⑥ NPO 法人 ひろしま人と樹の会(広島県)
	⑦ 一般社団法人 かみかつ里山倶楽部 (徳島県)
	⑧ NPO 法人 山村塾(福岡県)

3. 人材育成の事業

(1) 市民・子どものための森林・環境教育総合講座

[助成事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
主担当者	樋口、松井
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	27 名(活動・参加者、スタッフの参加者総数)
会議等の実施日時・人数	・7/8 春の親子ミニ体験会 参加者数:4 名
	・10/14 秋の親子自然体験会 参加者数:23 名
報告	「こげさわ渓谷冒険の森の会」と共催して親子自然体験会を実施した。当初春
	の親子体験会を 6 月 10 日に予定しており、親子 19 組 49 名の申し込みがあっ
	たが荒天中止となった。代替として7月8日に親子ミニ体験会を実施し、親子
	2組4名の参加があった。10月14日に秋の親子自然体験会を実施し、親子9
	組 23 名の参加があった。

(2) 森林ボランティアの底辺拡大と指導者層の育成事業

[助成事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月
------	-----------------

実施場所	東京都内の森林 7 カ所		
主担当者	石井、石山、松井		
従事者の人数	3名		
受益対象者の範囲及び人数	213 名(体験会参加者・指導者、報告会・打ち合わせの参加者総数)		
会議等の実施日時・人数	・体験会 2018(参加者合計:66 名)		
	4/8 奥多摩・山しごとの会(21 名)、4/15 鳩ノ巣協議会(6 名)、5/13 花咲き		
	山整備隊(17名)、5/27森の安全を考える会(7名)、6/2 パウロの森くらぶ(15		
	名)		
	・6/18 体験会 2018 報告会 場所:文京区区民会議室 参加者:15 名		
	・9/27 体験会 2019 チラシ作成打ち合わせ 場所:さとゆめ 参加者:3 名		
	・10/8 体験会特別回 お日の森くらぶ 参加者:17名		
	・体験会 2019(参加者合計:112 名)		
	1/27 奥多摩・山しごとの会(31 名)、2/24 花咲き山整備隊(18 名)、3/2 高尾		
	グリーン倶楽部(33 名)、3/30 パウロの森くらぶ(30 名)		
協力団体	奥多摩・山しごとの会、お日の森くらぶ、木下沢渓谷冒険の森の会、高尾グリ		
	ーン倶楽部、パウロの森くらぶ、鳩ノ巣協議会、花咲き山整備隊、森の安全を		
	考える会		
報告	2017 年度に引き続き、6 月まで体験会 2018 を実施し、10 月には中止となった		
	回の代替として特別回を実施した。6月には報告会を実施し、その内容を受け		
	て体験会 2019 を企画した。2017 年度とは 1 団体が入れ替わり、12 月から告		
	知を開始、1 月から体験会 2019 がスタートした。今年度は上記の 4 団体のプ		
	ログラムを実施した。		

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業]

• •	*******
実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、久保田、樋口、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	以下表を参照
報告	団体登録の促進の一環として新規登録・情報変更用のフォームを設置し、利
	用効率の向上を図った。サービス内容をより分かりやすく伝え、登録・利用
	がよりスムーズにできるよう WEB ページを更新した。SNS を活用し登録・
	利用団体の増加促進を図った。また登録団体にとってより利用しやすいサー
	ビスとなるよう、保険料支払について一定期間をまとめて行えるような制度
	を 2 団体で試行した。

【グリーンボランティア保険 登録団体 状況】(2018年度実績)

|--|

・昨年度新規登録:101 団体 ・18 年度登録料未確認団体 :10 団体

<件数> (2018年4月1日~2019年3月31日までの実績)

	第一種	第二種	賠償責任部分	合計	前年度比(%)
保険利用件数	3,796	3,889	7,685	7,685	111
保険利用人数	44,246	15,035	57,547	57,547	104
保険料	3,062,480	7,711,965	6,362,100	17,136,545	104
事故件数	21	17	6	44	151
保険金支払額				956,299	22

(2) 森林ボランティア安全対策の提言

[自主事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	久保田、宮本、山田
従事者の人数	3名
会議等の実施日時・人数	_
受益対象者の範囲及び人数	5334 人(メールマガジン購読者数:2,548 人、Facebook フォロー数:2786 人の合計)
報告	メールマガジンと Facebook で森づくり活動における安全管理に関する情報を
	発信した。また、森づくりフォーラム機関誌を通じた連載記事や、これまでの
	安全に関わる研修やシンポジウムなどの実績、グリーンボランティア保険事業
	において蓄積された事故事例を活かした事業企画を立案し、日野自動車グリー
	ンファンドの助成申請を行ったが、不採択となった。

5. フィールド事業

(1) フォレスト 21「さがみの森」

[助成事業]

(-)	2 2 3 3 4 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha(神奈川県相模原市緑区青山)
主担当者	石井、宮本
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	418 名
報告	毎月第2土曜日、第4日曜日での定例活動、毎月第2火曜日に連絡協議会を実施。
	4月にオムロン体験イベント(45名参加)、8月にBBQイベントを実施した。造
	成 20 年を過ぎ、これまでの活動成果を広く周知 PR するために、秋から生物相
	の調査を開始し、また補植イベントを行うための準備を進めた。来年度の PR 用
	ガイドブックの作成に向けてイオン財団助成事業への申請も行い、企画案を作成
	した。

(2)多摩の森・大自然塾 定例活動

[自主事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	松井、鹿住
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	392 名
報告	JUON (樹恩) NETWORK、森林インストラクター東京会とともに毎月第3日曜
	日に定例活動を実施し、毎月第1月曜日に鳩ノ巣協議会を実施した。なお、中高
	生・大学生を対象とした活動を8月5日、11月4日に実施した。

(3)企業の森 [受託事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月	
実施場所	東京都青梅市 3 カ所	
主担当者	久保田、宮本	
従事者の人数	2 名	
受益対象者の範囲及び人数	125 名	
会議等の実施日時・人数	4/17 青梅信用金庫 52 名、7/14 清和綜合建物 50 名、	
	9/23 美しい多摩川フォーラム 23 名	
報告	東京都農林水産振興財団の「花粉の少ない森づくり運動」の「企業の森」での活	
	動で、西多摩自然フォーラム、森林インストラクター東京会の協力により、植樹	
	下刈り、シカ除けネット設置・補修等の指導を行った。	

(4)木下沢渓谷冒険の森

[助成事業]

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
主担当者	松井、樋口
従事者の人数	2 名
受益対象者の範囲及び人数	182 名
報告	「こげさわ渓谷冒険の森の会」と協力し、毎月第2日曜日に定例活動を実施した。
	またプチ体験会という午前中のみのミニイベントを定例活動時に実施し、初心者
	の参加を促進、初心者計9名が参加した。

<フィールド事業 活動成果>

事業名	活動実施日	活動	実施	今年度	昨年度
		スタイル	回数	延べ参加者数	延べ参加者数
初心者のための森づ	4/8、4/15、5/13、5/27、6/2、				
くり体験会 2018、特	10/8、1/27、2/24、3/2、3/30	イベント	10	195	18
別回、2019					

フォレスト 21 「さがみの森」	4/14、4/22、5/12、5/27、6/19、6/24、7/4、7/22、8/26、9/8、9/23、10/13、10/28、11/10、11/25、12/8、12/23、1/12、1/27、2/24、3/9、3/24	定例活動	22	418	248
木下沢渓谷冒険の森	4/8、5/13、6/9、7/8、8/12、9/9、 10/13、10/14、11/11、12/9、 1/13、2/10、3/10、3/31	定例活動、 臨時活動、 イベント	14	249	107
多摩の森・大自然塾	4/15、5/20、6/17、7/15、8/5、 8/19、9/16、10/21、11/4、11/18、 12/16、1/20、2/17、3/17	定例活動、 学生向け 活動	14	392	367
企業の森	4/17: 青梅信用金庫 7/14: 清和綜合建物 9/23: 美しい多摩川フォーラム	イベント	3	125	55

Ⅱ.総務に関する事項

1. 会議

(1)第19回通常総会 2018年5月20日
 (2)第38回定期理事会 2018年5月19日
 (3)第39回定期理事会 2019年1月26日

(4) 運営委員会 2018年4月5日、5月10日、6月26日、9月20日、12月

19 日 ※3ヵ月に1回程度開催

(5) 中長期ビジョン検討会 2018年4月27日

(6) 事務局会議 2018年7月20日、8月29日、10月11日、11月16日、

2019年1月16日、2月15日、3月22日※月に1回程度開催

(7) 広報委員会 2019年7月6日 事務局会議内でも実施

2. 会員の拡大

実施期間	2018年4月~2019年3月
実施場所	本会事務所・主催及び関連イベント
主担当者	運営委員会及び事務局
従事者の人数	7名
受益対象者の範囲及び人数	会員数は以下推移表を参照。
報告	講座・シンポジウム等の開催時の周知、WEB ストア購入者への案内、WEB サ
	イトやメールマガジンなどを通じて個人会員新規入会の働きかけを行った。
	WEB サイト上からの入会申し込み等に対応するため、入会申込フォームを設
	置し、同フォーム経由で7名が入会した。

会員数の推移(2018年度実績)

	前年度	新規	退会	今年度
	会員数	会員数	会員数	会員数
個人正会員	1 1 2	1 3	1 3	1 1 2
個人賛助会員	6 6	8	1 0	6 4
個人会員計	1 7 8	2 1	2 3	1 7 6
団体正会員	7 1	6	3	7 4
団体賛助会員	3	0	0	3
団体会員計	7 4	6	3	7 7

3. 機関誌『森づくりフォーラムだより』及び『森づくりフォーラム特集号』の発行

実施期間	2018年4月~2019年3月 発行回数:5回
	森づくりフォーラムだより:2018年5月、9月、2月、2019年3月
	森づくりフォーラム特集号:2018 年 11 月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、中沢、宮本、村田
従事者の人数	4 名
受益対象者の範囲及び人数	延べ 2,750 名(森づくりフォーラムだより 600 部×4 回、森づくりフォーラム
	特集号 350 部×1 回)
報告	年 4 回の『森づくりフォーラムだより』(簡易活動レポート)と年 2 回の『森
	づくりフォーラム特集号』の発行という形で、昨年度までの発行形態を変更し
	た(特集号は今年度の発行は1号のみ)。『森づくりフォーラムだより』の第1
	号は5月に、第2号は9月に、第3号を12月に、第4号を3月に発行した。
	また、森林社会学研究会での講座内容を中心とした『森づくりフォーラム特集
	号』を作成する方針で、企画内容・編集、配布方法などについて検討し、第 1
	号を 11 月に発行した。特集号は WEB ストアでの一般販売を開始した。

4. メールマガジン『森フォ通信』の発行

実施期間	2018年4月~2019年3月			
	発行回数 25 回 (定期号:月2回、号外:1回)			
実施場所	本会事務所			
主担当者	石井、中沢、宮本			
従事者の人数	3名			
受益対象者の範囲及び人数	2,548 名(2019 年 3 月末日までの購読者数)			
報告	森づくりフォーラムの活動や森林に関わる情報発信を行った。シンポジウムや			

実態調査事業等の機会を通じて、購読者を増やした。また、WEB サイト上で
購読申し込みができるように、申込フォームを設置した。同フォームからは 4
月以降70名の登録申込があった。

5. メールマガジン『東京の森づくり団体 活動お知らせ』の発行

実施期間	2018年8月~2019年3月			
	発行回数7回(定期号:8月から月1回 ※9月は発行なし)			
実施場所	本会事務所			
主担当者	石井			
従事者の人数	1名			
受益対象者の範囲及び人数	94 名 (2019 年 3 月末日までの購読者数)			
報告	初心者のための森づくり体験会の参加者・申し込み者に向けて、体験会協力団			
	体の定例活動やイベント情報の発信を8月より月1回実施した。			

6. 寄付キャンペーンの実施

実施期間	2018年9月~11月			
実施場所	本会事務所			
主担当者	石井、宮本			
従事者の人数	2名			
受益対象者の範囲及び人数	124 名(商品購入者数)			
報告	チャリティー専門ファッションブランド JAMMIN と協働し、1 週間限定でオ			
	リジナルチャリティー商品を販売した。商品1つにつき700円が森づくりフォ			
	ーラムに寄付され、合計で 117,190 円の寄付が集まった。			

7. WEB サイト、SNS(Facebook、Instagram)による情報発信

(1) WEB サイトの更新

実施期間	2018年4月~2019年3月			
実施場所	本会事務所			
主担当者	石井、宮本			
従事者の人数	2名			
受益対象者の範囲及び人数	延べ 26,004 アクセス(閲覧件数平均 約 2,166 回/月)			
報告	各イベントや講座の告知情報をはじめ、「団体紹介記事」「内山節ライブラリー」、			
	関係団体の関連情報の掲載、森林・林業に関する情報発信を行った。また、入			
	会・寄付、事業紹介など各ページの情報を整理し、アップデートした。アクセ			
	ス数は昨年度比で約2倍となった。			

(2) SNS (Facebook, Instagram)

実施期間	2018年4月~2019年3月				
実施場所	本会事務所				
主担当者	石井、中沢、樋口、宮本				
従事者の人数	4名				
受益対象者の範囲及び人数	Facebook: 2,786 Instagram: 1,200				
報告	Facebook ページ上で、シンポジウムなどの広報告知、WEB サイトにアップし				
	た記事へのリンクなど情報提供を行った。また活動中の写真を活用し、普及啓				
	発を拡大するために Instagram の運用を開始した。				

【各広報の推移】

ツール名	投稿、発行頻度	購読者数、フォロー数、	フォロー、アクセス数
		アクセス数(2017 年度)	(2018年度)
メールマガジン	月2回、月1回	1,738	2,642
Facebook(森フォ)	月に約4記事 投稿	2,300	2,786
Facebook(全国の集い)	イベント開催前に投稿	631	759
Instagram	週5日更新	-	1,200
WEB サイト	ほぼ毎週更新	14,667	26,004

8. 各種委員会への出席

- ・4/20 森づくり安全技術技能推進協議会理事会(松井)
- ・6/14 森林・山村面的機能発揮交付金企画委員会(松井)
- ・8/2 森づくり安全技術・技能全国推進協議会アドバイザー会議(松井)
- ・8/8 森林農村の多面的機能発揮交付金企画委員会(松井)
- ・9/11 森づくり安全技術・技能全国推進協議会理事会・総会(松井)
- ・9/13 東京都 緑の募金運営協議会(松井)
- ・1/25 東京都 花粉の少ない森づくり運動推進委員会(久保田)
- ・2/22 セブン-イレブン記念財団環境市民活動助成専門審査会(原田)

Ⅲ. 事務局体制

<常務理事> 〔非常勤〕

鹿住 貴之 認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK

<事務局職員>

 宮本
 至
 〔常
 勤〕

 石井
 春花
 〔常
 勤〕

 中沢
 和彦
 〔非常勤〕

樋口 満里 〔非常勤〕<ボランティアスタッフ>村田 央

IV. 事務局会議・運営委員会体制

事務局会議は常務理事および事務局スタッフ・常勤職員で構成し、原則毎月1回程度、事業進捗状況のほか必要な事項を協議する。運営委員会は首都圏在住の理事を中心として構成し、3ヶ月に1回程度開催する。構成メンバーは、上記理事、事務局常勤職員のほか次のとおり。

<副代表理事>

原田 敏之 愛知生態系ネットワーク協議会

<理 事>

赤池 円 私の森.jp

<理 事>

石山 恵子 遊学の道 Project

<理 事>

久保田繁男 西多摩自然フォーラム

<理 事>

松井 一郎 森林インストラクター会 東京

<理 事>

水谷 伸吉 一般社団法人 more trees

<事務局職員>

中沢 和彦